

# 「激甚災害時における応急仮設住宅」「水道事故時の備え・広報」についての調査結果

西宮市市政モニターの皆様を対象に2022年1月に「激甚災害時における応急仮設住宅」「水道事故時の備え・広報」について調査を実施し、ご意見をお聞きしました。ご回答して頂きましたモニターの皆様には、厚くお礼申し上げます。

調査モニター数	有効回答数	有効回答率
399	300	75.2%

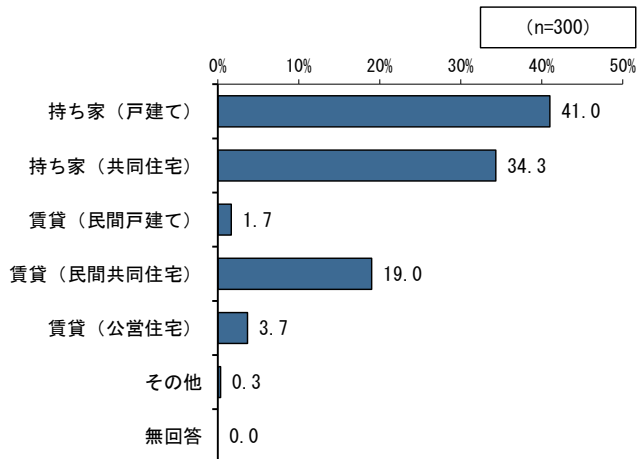
有効回答者の性別（構成比）		
男性	女性	無回答
48.0%	52.0%	0.0%

有効回答者の年代別（構成比）								
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
0.7%	7.0%	15.7%	22.7%	24.0%	16.3%	10.0%	3.7%	0.0%

## 激甚災害時における応急仮設住宅について

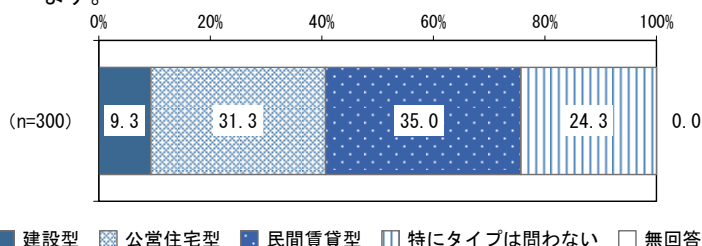
### 問 お住まいについて教えてください。

住まいについて最も多いのは「持ち家（戸建て）」で41.0%、次いで「持ち家（共同住宅）」が34.3%となっています。



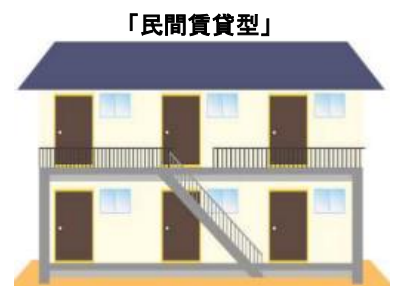
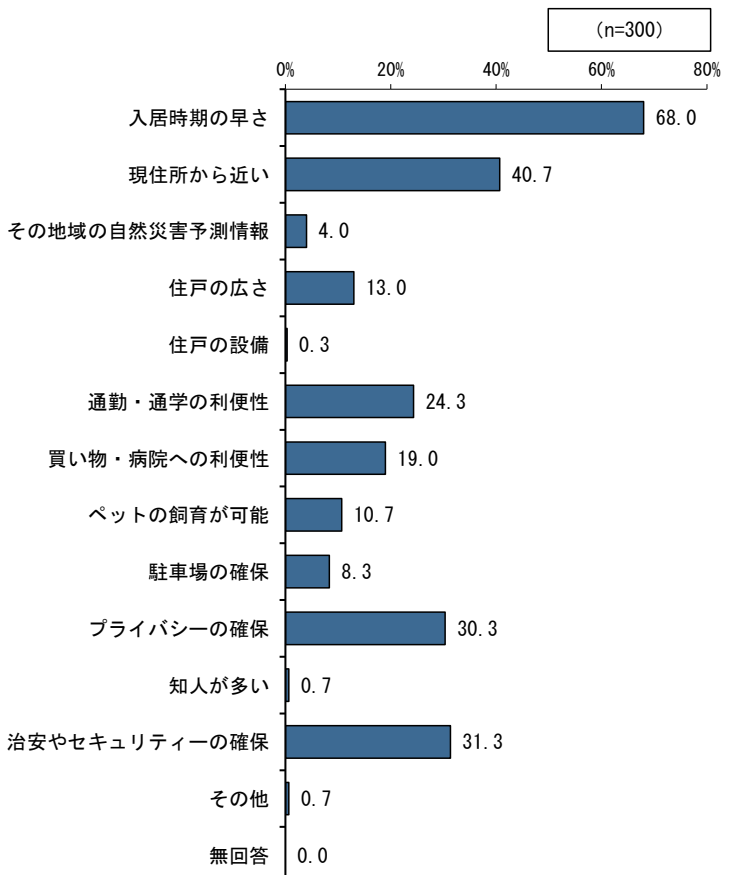
### 問 応急仮設住宅には、プレハブなどの「建設型」、市（県）営住宅を利用する「公営住宅型」、民間の協力を得て被災者に供与する「民間賃貸型」の3種類がありますが、立地条件や入居時期が同じとした場合、あなたが入居するなどのタイプを希望しますか。

応急仮設住宅の希望タイプについて最も多いのは「民間賃貸型」で35.0%、次いで「公営住宅型」が31.3%となっています。



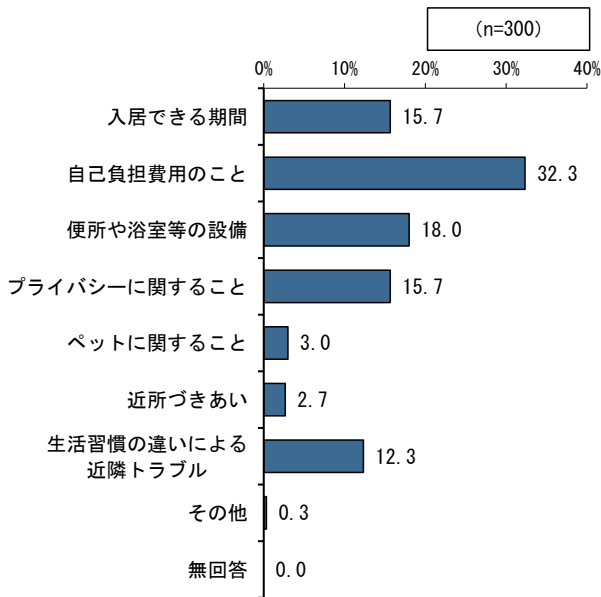
### 問 入居する応急仮設住宅を選ぶ際、あなたが特に優先することは何ですか。（3つまで選択可）

応急仮設住宅を選択する際の優先順位について最も高いのは「入居時期の早さ」で68.0%、次いで「現住所から近い」が40.7%となっています。



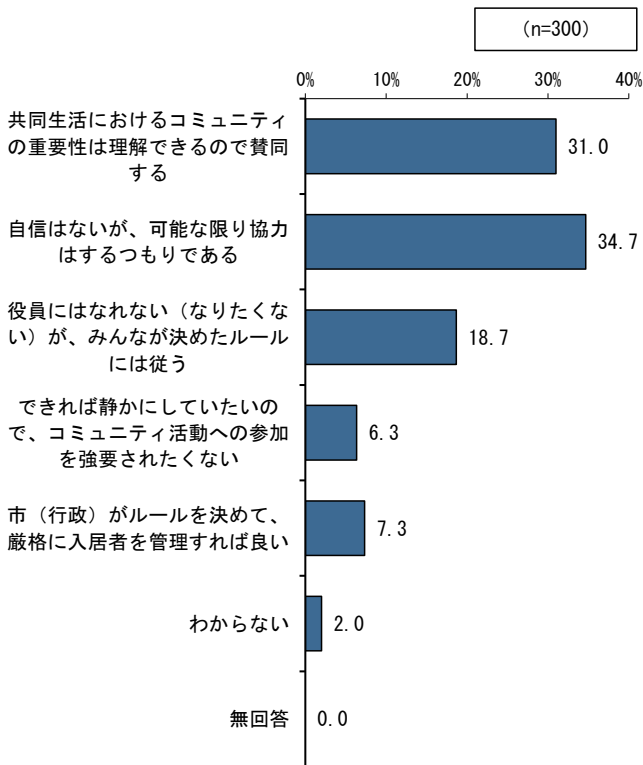
**問 応急仮設住宅へ入居する場合、あなたが最も不安に思うことや心配することは何ですか。**

応急仮設住宅への入居で、不安や心配することについて最も多いのは「自己負担費用のこと」で32.3%、次いで「便所や浴室等の設備」が18.0%となっています。



**問 応急仮設住宅での共同生活の際は、入居者間においてコミュニティを創出し、お互いに協力し合うことが求められます。このことについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。**

共同生活における協力の考え方について最も多いのは「自信はないが、可能な限り協力はするつもりである」で34.7%、次いで「共同生活におけるコミュニティの重要性は理解できるので賛同する」が31.0%となっています。

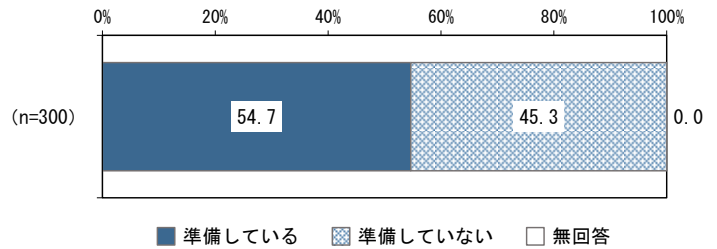


※各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「複数選択可」と表記された設問は選択肢の構成比(%)の合計が100%を超える場合があります。

**水道事故時の備え・広報について**

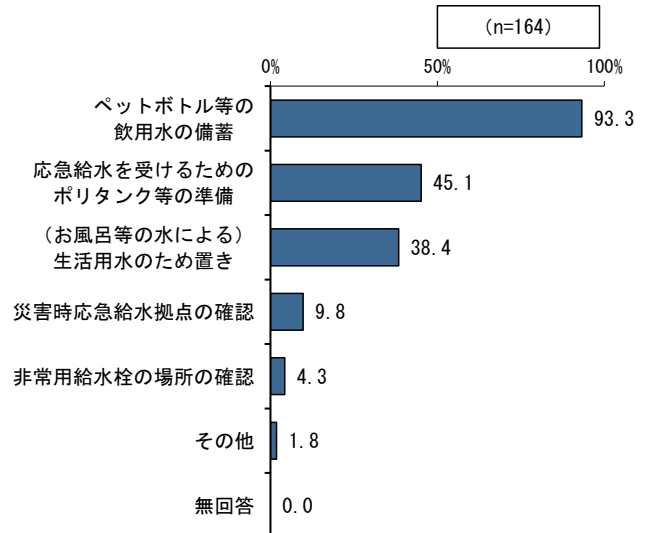
**問 災害や大規模な事故が発生すると、長期にわたり断水する可能性があります。このような断水発生時の備えとして、何か準備をされていますか。**

断水発生時の準備について「準備している」が54.7%、「準備していない」が45.3%となっています。



**問 上記の間で「準備している」と回答された方にうかがいます。災害や大規模な事故を原因とする断水が長期にわたることに備えて、どのような準備をされていますか。(複数選択可)**

断水発生時の準備の内容について最も多いのは「ペットボトル等の飲用水の備蓄」で93.3%、次いで「応急給水を受けるためのポリタンク等の準備」が45.1%となっています。



**問 大規模な事故で突然水道が使えなくなった時、発行時期が定められている市政ニュース等の紙面以外で、日々変化していく給水場所や復旧時期等の情報を、入手しやすいのはどの媒体ですか。(複数選択可)**

断水発生時の情報を入手しやすい媒体について最も多いのは「市公式ホームページ」で74.0%、次いで「広報車」が54.3%となっています。

